

「第 11 回電子デバイスフォーラム京都」報告

2024 年 11 月 5 日

(一社)日本電子デバイス産業協会 事務局

「第 11 回電子デバイスフォーラム京都」を開催しました

- 開催概要
- 挨拶・基調講演、マーケティングセッション等
- 展示会
- アンケート結果
- 次回について
- 展示会の写真

■「第 11 回電子デバイスフォーラム京都」を開催しました

2024 年 10 月 31 日(木)、11 月 1 日(金)に京都市サーチパーク(KRP)において、「新時代の日本の半導体/電子部品の飛躍戦略を探る!!」をキャッチフレーズとして、「第 11 回電子デバイスフォーラム京都」を開催しました。

今回は、昨年の第 10 回記念大会と同等レベルの参加者数を目指して、プログラム委員会において電子デバイス関連の最新の興味あるテーマに関する意欲的なプログラムの策定に力を入れました。参加者の交流の場となるレセプションにおいては、例年行っている舞妓の舞を行いました。また、遠隔地からの参加の利便を考慮し、昨年度に引き続き WEB 配信併用という形での開催となりました。



挨拶・基調講演会場：バズホール



レセプションでの舞妓さんと齋藤会長

第 11 回電子デバイスフォーラム京都(2024.10.31-11.1)報告

昨年に引き続き中会議室 A において「車載電子デバイスパビリオン」を企画し、また、「マーケティングセッション」も継続して実施し、WEB 参加も含め参加者 350 名(第 10 回：340 名、第 9 回：320 名、第 8 回：290 名)、延セッション参加数 1,300 名(第 10 回：1260 名、第 9 回：1,120 名、第 8 回：970 名)と昨年、一昨年を上回り、延べセッション参加数が過去のピークとなるたくさんの方に参加いただき盛況のうちに開催できました。参加者の交流を深めるレセプションを昨年に引き続き開催し、多くの方に参加いただきました。参加いただいた会員、電子デバイス関連産業の方々、また、プログラム策定、プロモート及びセッション等の運営にご尽力いただいたプログラム委員及びボランティア各位に感謝申し上げます。以下に、「第 11 回電子デバイスフォーラム京都」の開催報告をします。



基調講演司会：中村 理事、プログラム委員長



開会挨拶：齋藤 代表理事・会長

(1) 開催概要

- ①開催日時：2024 年 10 月 31 日(木)10:00-11 月 1 日(金)17:30
- ②場所：京都リサーチパーク(KRP)
東地区 1 号館 4 階：サイエンスホール、G 会議室
中会議室 A、B、C、ホワイト
ASTEM10 階会議室
アトリウム
西地区 4 号館 B1：バズホール、バンケットホール

6 会場、セッション数：17、講演数：51、展示ブース数：18、ポスター展示：3 と昨年と同規模で実施しました。

- ③「車載電子デバイスパビリオン」：昨年に引き続き、中会議室 A において、(株)村田製作殿のご協力により種々の自動車・電動バイクに搭載の電子デバイス等を展示しました。
- ④セッションごとに作成している 17 冊の予稿集について、昨年に引き続きカラー印刷とし参加者の便宜を図りました。また、昨年に引き続き WEB 併用としました。



ご来賓挨拶：鈴木 京都府副知事



ご来賓挨拶：松井 京都市長挨拶の代読
松井 京都市産業観光局 理事

(2) 挨拶・基調講演、マーケティングセッション等

- ①挨拶・基調講演は 10 月 31 日(木)10:00 から西地区 4 号館 B1 バズホールで実施しました。昨年に引き続き 9:30 からウエルカムコーヒーをバンケットホールに準備し、参加者に利用いただきました。
- ②挨拶・基調講演は司会を中村孝氏(NEDIA 理事、プログラム委員長、大阪大学)が務め、齋藤昇三 NEDIA 代表理事・会長、組織委員長の開会挨拶で始まりしました。冒頭の来賓ご挨拶で、鈴木一弥

京都府副知事にお言葉をいただき、松井孝治 京都市長のご挨拶を産業観光局理事の松井康史様に代読いただきました。

基調講演は、最初に(株)産業タイムズ社の泉谷 渉 取締役会長に「電子デバイス産業は異次元の成長段階に突入したのだ！！～シリコン列島ニッポンによる新たな国おこし～」と題しご講演いただきました。続いて関西企業代表として三菱電機(株)先端技術総合研究所副所長の西沢昭則様に「先端技術総合研究所における研究戦略」と題しご講演いただきました。最後に東京エレクトロン(株)経営戦略室室長の西村和哲様に「半導体製造装置業界の役割と将来への成長に向けて」と題しご講演いただきました。

会場 220 名、WEB 参加を含めて 250 名の多数の参加者に熱心に聴講いただきました。



基調講演：泉谷 (株)産業タイムズ社 取締役会長



基調講演：西沢 三菱電機(株)



基調講演：西村 東京エレクトロン(株)

先端技術総合研究所 副所長

戦略企画室 室長

- ③マーケティングセッションは、第4回から引き続き独立したセッションとして11月1日(金)9:20から東地区1号館4階のサイエンスホール及びG会議室(サテライト)を会場として実施しました。電子デバイス分野における第1線でご活躍のアナリスト3名の特別講演で構成し、会場で220名、WEB参加も含めて250名の多数の参加者で熱気のあるセッションとなりました。最初に「生成AIが牽引し再成長に向かう半導体・装置・電子部品業界」と題し(株)産業タイムズ社大阪支局長 電子デバイス産業新聞 副編集長の中村 剛様にご講演いただき、続いて、「2025年度以降のグローバル市場動向と注目すべき半導体市場の今後の見通し」と題し、インフォーマンテリジェンス合同会社 シニアコンサルティングディレクターの南川 明様にご講演いただき、最後に、「フラットパネルディスプレイ・CMOSセンサ業界・スマホなど完成品業界見通し：25年、AI機能がスマホやPC買換えを牽引する？ 技術変化や今後の注目点は何か？」と題し、みずほ証券(株) エクイティ調査部 グローバル・ヘッド・オブ・テクノロジー・リサーチ/シニアアナリストにご講演いただきました。

- ④A～Eの5コースのセッションを、10月31日(木)午後、11月1日(金)午後に合計15セッションで構成し、参加者それぞれに興味あるセッションを聴講いただきました。

A コースは「環境エネルギー」をテーマに「環境エネルギー総論」、「カーボンリサイクル」、「パワーエレクトロニクス」の3セッション、B コースは「新世代のデジタル」をテーマに「DX 総論」、「次世代通信」、「AI」の3セッション、C コースは「The 半導体」をテーマに「半導体の市場・

技術動向」、「装置技術・プロセス技術」、「デバイス技術・応用」の3セッション、Dコースは「跳躍の最先端パッケージ・実装技術」をテーマに「最新のパッケージ・実装技術動向」、「光通信デバイス」、「高密度実装」の3セッション、特別セッションは、産学連携の「大学セッション：マテリアル先端リサーチインフラ」、「核融合」、「中・韓・印 アジア半導体産業の最前線を追う！」の3セッションとしました。

15セッションのうちWEB参加も含めた聴講者の多い順は、①「装置技術・プロセス技術」、②「半導体の市場・技術動向」、③「最新のパッケージ・実装技術動向」、④「中・韓・印 アジア半導体産業の最前線を追う！」、⑤「高密度実装」⑥「デバイス技術・応用」であり、世の中の動向と参加いただいた方の興味がどこにあるかが伺えます。

(3) レセプション

昨年に引き続きレセプションを、10月31日(木)17:00-18:30にアトリウムで開催しました。

今回は例年行っている舞妓の舞を行い、150名を超える参加を得て、いい雰囲気でのレセプションとなりました。

司会は㈱産業タイムズ社特別顧問の佐藤文治氏が務め、17:00に開始しました。主催者挨拶を齋藤昇三 NEDIA 代表理事・会長が行い、続いて京都企業代表として、㈱SCREEN セミコンダクターソリューションズ 代表取締役 社長執行役員の岡本明彦様のご挨拶があり、その後、㈱村田製作所 代表取締役副社長の岩坪浩様の乾杯の発生により、交流の場が始まりました。17:30頃から舞妓さん1名に芸妓さん1名による舞で、華やかな雰囲気となり、舞台の前が観賞及び写真撮影の場となりました。

舞の終了後、芸妓さん、舞妓さんは会場を回り参加者と写真を一緒に撮ったりしました。その後、司会の指



盛況のレセプション会場(アトリウム)



司会：佐藤 ㈱産業タイムズ社 特別顧問



主催者挨拶：齋藤 NEDIA 代表理事・会長



京都企業代表挨拶：岡本 ㈱SCREEN
セミコンダクターソリューションズ ㈱代表取締役 執行役員



乾杯：岩坪 ㈱村田製作所 代表取締役 副社長

名で、井手愛香 苫小牧市 主事、南川 明 インフォーマインテリジェンス合同会社 シニアコンサルティングディレクター、中村 孝 プログラム委員会委員長、廣田良浩 プログラム委員会副委員長、不破保博 プログラム委員会委員のご挨拶がありました。最後に、小石秀之 (株)堀場製作所取締役の締め挨拶があり、レセプションはお開きとなりました。終了後、知己の方同士で、京都の街に繰り出すグループも見られました。



アトラクション：舞妓の舞



挨拶：井手 苫小牧市 主事



挨拶：中村 プログラム委員長



挨拶：廣田 プログラム委員会 副委員長



挨拶：不破 プログラム委員会 委員



締め挨拶：小石 (株)堀場製作所 取締役



展示会会場(ホワイエ)

(4) 展示会

展示会は、ホワイエ及び中会議室Aでおこないました。ホワイエは昨年と同様に15ブースとし、ゆったりした配置で開催しました。中会議室Aでは昨年に引き続き「車載電子デバイスパビリオン」を開催しました。

① 展示参加会社：11 企業・団体、4 大学(50 音順)

エヌディアアイ(株)、(株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ、セイノーホールディングス(株)、田中貴金属工業(株)、苫小牧市、ニッタ・デュボン(株)、ハイデルベルグ・インストルメント(株)、(株)堀場製作所、(株)村田製作所、リソテックジャパン(株)、ローム(株)、大阪大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学、山形大学

② ポスター展示は3企業・団体

野村マイクロ・サイエンス(株)、SEMI ジャパン、NEDIA 戦略マップ委員会

(5) アンケート結果

- ① フォーラムの全体的な構成について：プログラムは時流に合っている 40%、プログラムは全体的に満足できる 40%と合わせて 80%と多くの参加者の評価をいただきました。
- ③ フォーラムの運営について：良い 50%、まあまあ 30%と、まずまずの評価をいただきました。
- ④ 次回についての参加について：是非参加したい 30%、プログラムが良ければ参加したい 45%と、合わせて 75%の方は再び参加いただけるとの感触を得ました。

(6) 次回について

来年も第12回を2025年10月最終週の10月30日(木)、10月31日(金)に京都リサーチパーク(KRP)で開催する予定です。来年もご参加を検討のほどよろしくお願いたします。

<展示出展会社・団体>

ホワイトエにおいて11企業・団体、4大学に出展いただきました。(ブース写真は50音順)



エヌディアイ(株)



(株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ



セイノーホールディングス(株)



田中貴金属工業(株)



北海道苦小牧市



ニッタ・デュポン(株)



ハイデルベルグ・インストルメント(株)



(株)堀場製作所



(株)村田製作所



リソテックジャパン(株)



ローム(株)



文部科学省 マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM)

<車載電子デバイスパビリオン>

昨年に引き続き、(株)村田製作所殿のご協力により、「車載電子デバイスパビリオン」を企画しました。中会議室 A の半分を使用し、電動バイク・種々の自動車の車載電子デバイス等を展示しました。



車載電子デバイスパビリオン：(株)村田製作所殿ご提供

<ポスター展示出展会社・団体>

中会議室 A でポスター展示を行い、3 企業・団体に出展いただきました。



野村マイクロ・サイエンス(株)

SEMI ジャパン



(一社)日本電子デバイス産業協会 戦略マップ委員会